

最近の雇用情勢について

(令和2年3月)

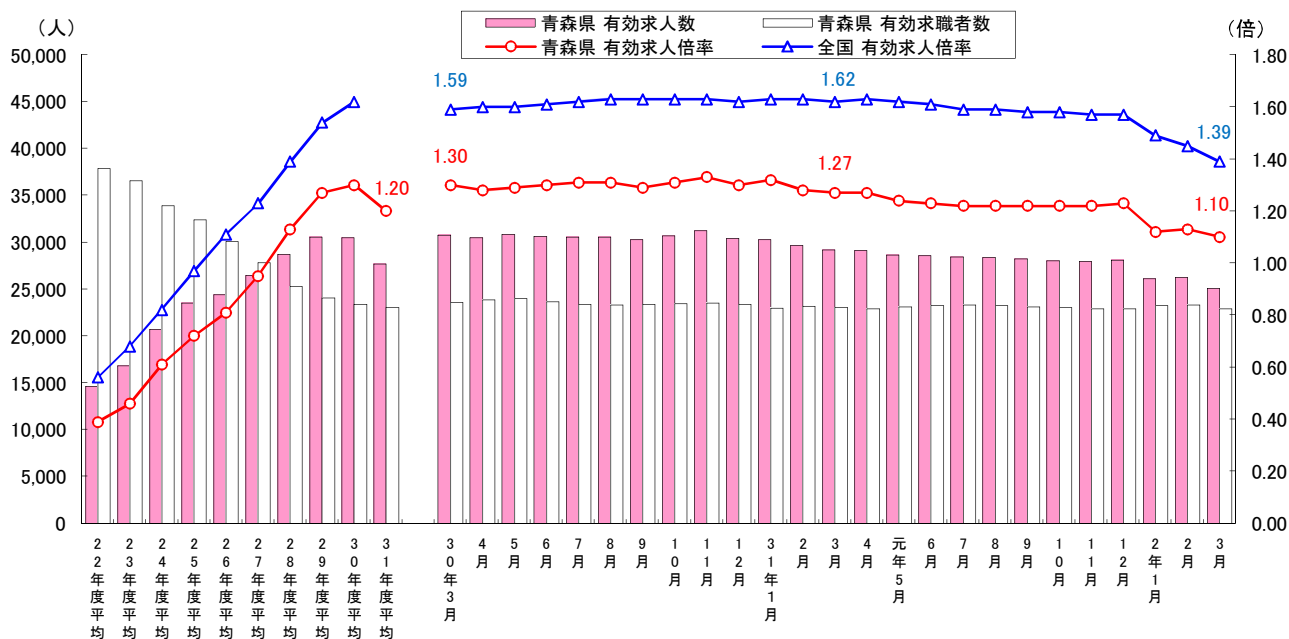
青森労働局

I 受理地別求人倍率の推移(季節調整値)・・・年度平均は原数値

3月の一般職業紹介状況をみると、有効求人数(季節調整値)は前月に比べ4.4%減少し25,104人、有効求職者数(同)も1.7%減少し22,915人で、有効求人倍率(同)は1.10倍となり、前月を0.03ポイント下回った。

就業地別の有効求人倍率(季節調整値)は1.20倍で前月に比べ0.03ポイント下回り、受理地別の倍率を0.10ポイント上回った。

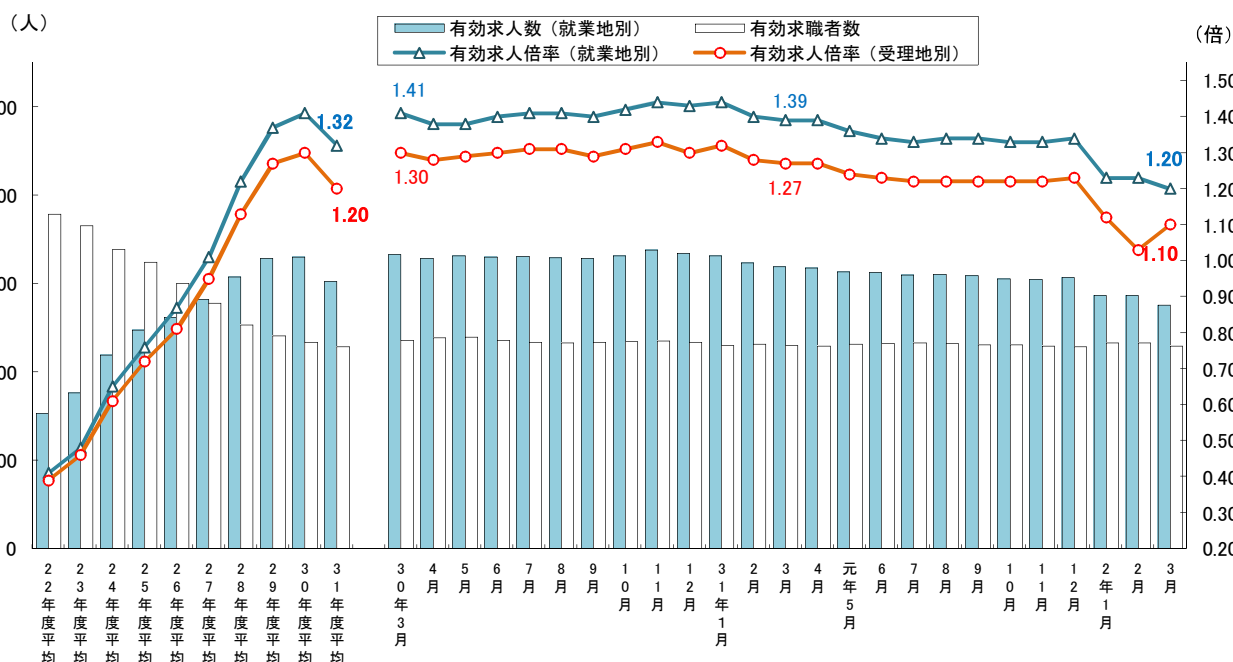
受理地別有効求人倍率の推移 (全数・季節調整値)



※ 県内のハローワークで受理した求人数から求人倍率を算定。

【参考指標】

就業地別有効求人倍率の推移 (全数・季節調整値)



全国のハローワークで受理した求人、就業地が青森県内となっている求人数から求人倍率を算定。

季節求人については、受理したハローワーク管内を就業地としてみなしている。

就業地として複数の市町村が挙げられている場合は、求人数を該当の市町村に割り当てることにより集計。

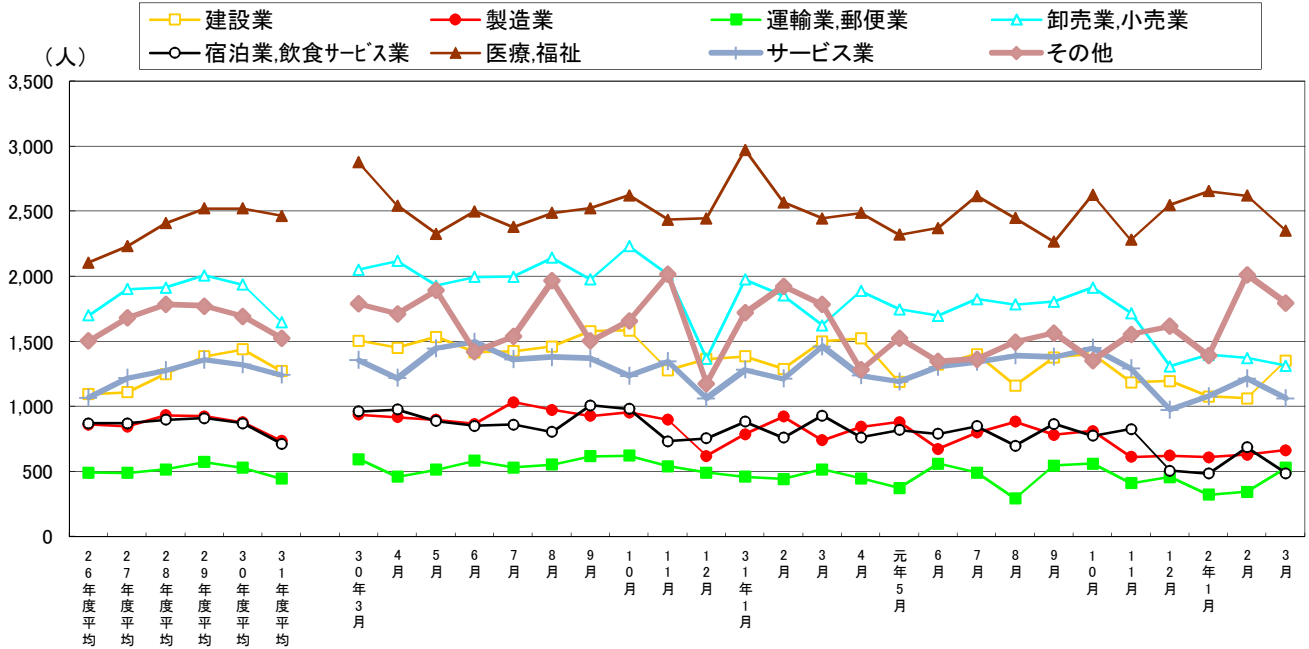
(注) 季節調整法はセンサス局法Ⅱ(X-12-ARIMA)による。なお、令和元年12月以前の数値は、令和2年1月分公表時に新季節指数により改訂されている。

II 新規求人の状況(学卒を除きパートタイムを含む)

3月の新規求人数(原数値)は前年同月比13.2%(1,451人)減少の9,564人。

主な産業別で前年同月と比較すると運輸・郵便業で増加し、建設業、製造業、卸売業、小売業、宿泊業、飲食サービス業、医療、福祉業等で減少した。

製造業では、鉄鋼業・非鉄金属製造業、金属製品製造業、電子部品・デバイス・電子回路製造業で増加し、食料品製造業、飲料・たばこ・飼料製造業、木材・木製品製造業(家具を除く)家具・装飾品製造業、窯業・土石製品製造業、はん用・生産用機械器具製造業、電気機械器具製造業等で減少した。



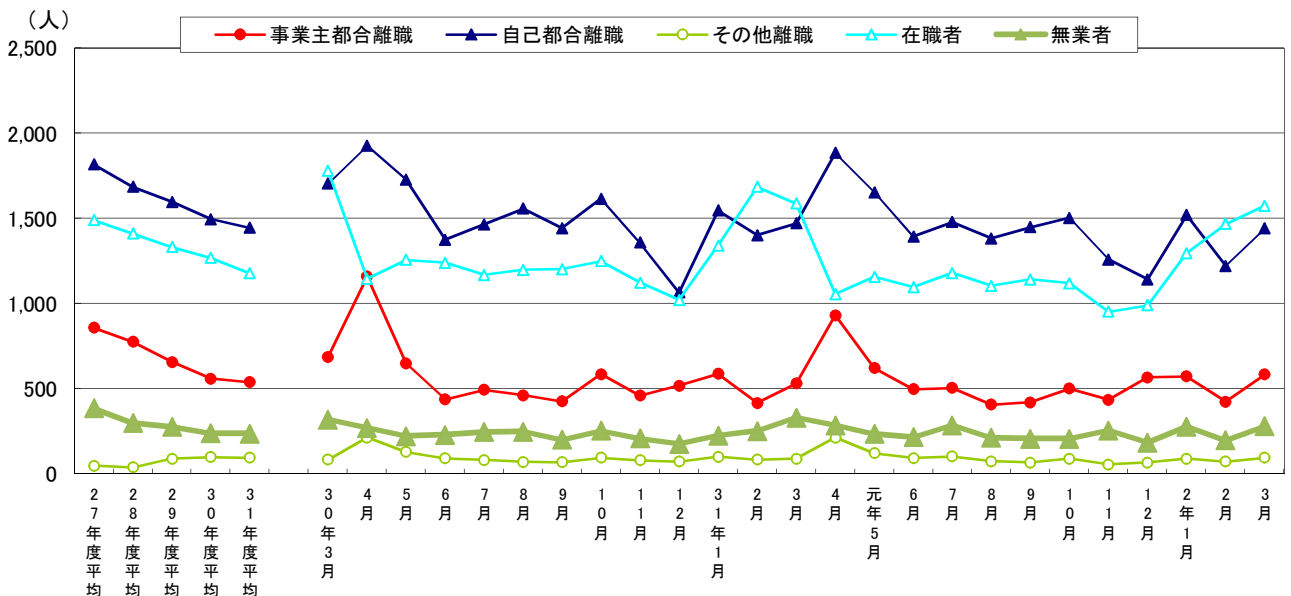
平成26年4月内容分より、平成25年10月改定の「新産業分類」での集計となっています。
 『その他』には、「農,林,漁業」「鉱業」「電気・ガス・熱供給・水道業」「情報通信業」「金融業,保険業」「不動産,物品賃貸業」「学術研究,専門・技術サービス業」「生活関連サービス業,娯楽業」「教育,学習支援業」「複合サービス事業」「公務・その他」を含みます。

III 新規求職の状況(パートを除く常用)

3月の新規求職者数(原数値)は、前年同月比0.9%(35人)減少の3,975人。

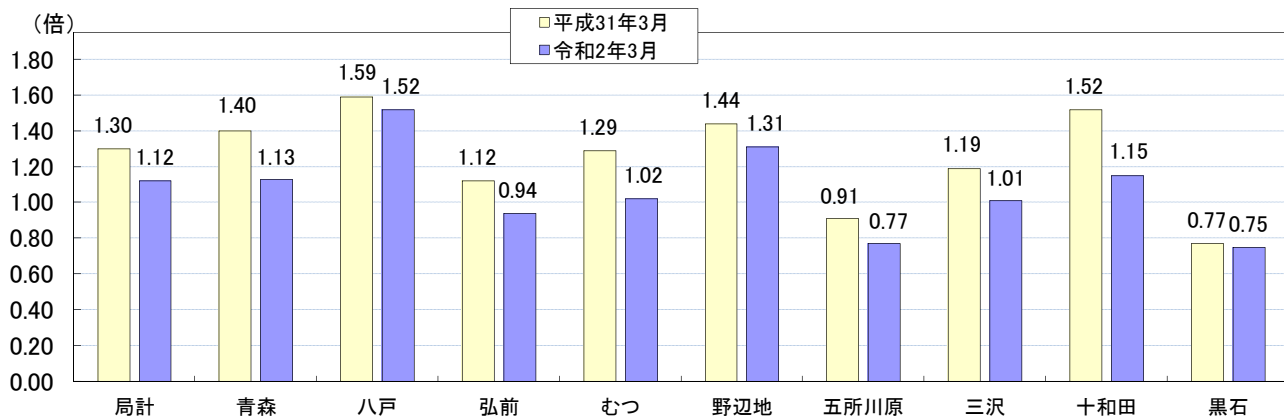
求職者を態様別に前年同月と比較すると、在職者は0.8%(12人)減少、無業者は14.9%(49人)減少、離職者は1.2%(26人)増加となった。

離職理由別では、事業主都合は前年同月比9.6%(51人)増加、自己都合は同2.0%(30人)の減少となった。



IV 安定所別求人倍率の状況(学卒を除きパートタイムを含む全数・・・原数値)

3月の局計の有効求人倍率(原数値)は1.12倍となり、前年同月より0.18ポイント低下した。各安定所別の有効求人倍率は次のとおり。



R2.3	局計	青森	八戸	弘前	むつ	野辺地	五所川原	三沢	十和田	黒石
有効求職者数	23,334	6,054	5,101	4,259	1,121	878	2,068	1,316	1,207	1,330
有効求人数	26,199	6,859	7,747	3,988	1,140	1,151	1,595	1,334	1,390	995

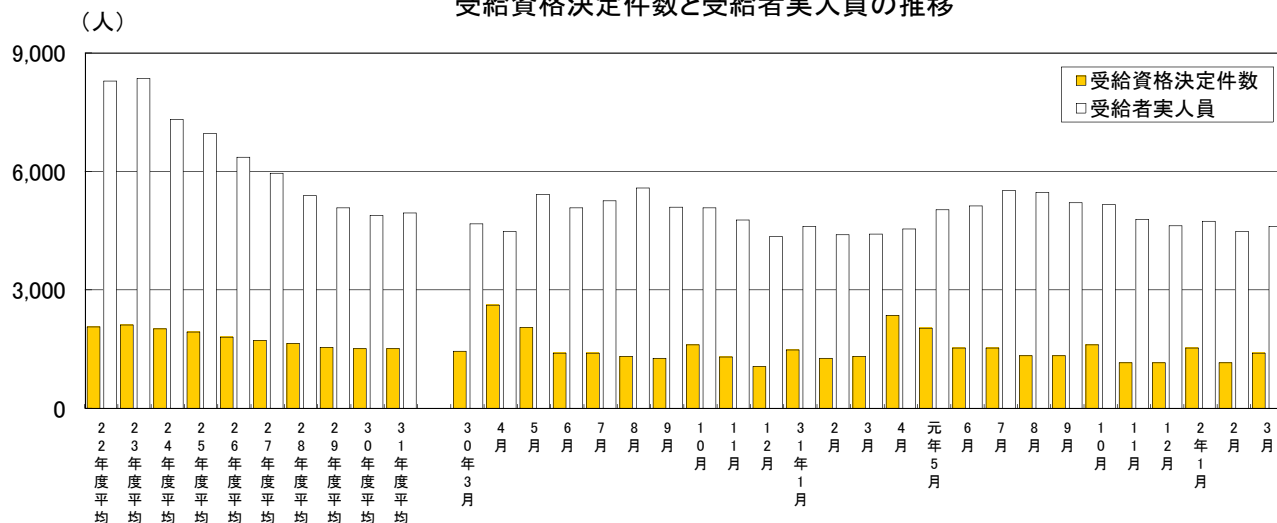
(単位:人)

V 雇用保険の状況

3月の受給者実人員(基本手当基本分)は、前年同月比4.1%(182人)増加、前月比では2.9%(128人)増加の4,608人となった。また、受給資格決定件数は、前年同月比13.8%(182件)減少、前月よりも2.2%(26件)減少し1,139件となった。※受給資格決定件数は、速報値であり修正する可能性もあり得ること。

資格喪失者(高年齢、短期特例被保険者を除く)のうち事業主都合による者は、前年同月比19.0%(46人)増加、前月比24.1%(56人)増加し288人となった。

受給資格決定件数と受給者実人員の推移



事業主都合による資格喪失件数の産業別推移

